# AsiaNet 99649

# 済寧：孔子博物館は文化の「創業と革新」に立脚し、伝統文化の革新的発展を実現

【済寧（中国）2023年3月1日PR Newswire】近頃、文化「創業と革新」ネットテーマ宣伝の初の行進式インタビューは済寧に入り、全メディアの視角、可視化された表現を通じ、山東が文化「創業と革新」の新たなベンチマークを構築し、新時代の山東の「文化泰山」を立ち上げる生き生きとした実践を深く掘り下げた。

2月17日午後、取材陣は孔子博物館を訪れ、微信（WeChat）のインターフェイスをまねて設計された「夫子問答」というインタラクティブな展示エリアが皆の注目を引いた。1つの大型のタッチスクリーンを通じ、孔夫子との「時空を超える」対話を実現することができる。

孔子博物館のスタッフによると、孔子博物館には、体験した夫子問答のほかにも、観光客がインタラクションできるハイテク体験項目がたくさんある。例えば、観光客はタッチスクリーンをクリックするだけで、明代の衍聖公の朝服、公服、常服、吉服と日常の私服を知ることができる。また、弟子入りのマナーを学び、孔子や孔子の弟子たちと一緒に写真を撮ることもできる。

現場では、「試験に負けない」不倒翁やアニメ夫子シリーズのフォルダーなど、夫子キャラクターのイメージで作られた文化クリエイティブ製品だけでなく、孔府結縄、蝶帳本革ショルダーバッグ、孔府月餅、小さなナイトライトなどもあり、更に孔廟大成殿、孔府垂花門（旧式住宅の“二門“の上につけた屋根）などの建築要素に基づいて開発された斗アーチ模型、大成殿パズルなどの文化クリエイティブ製品は、随所に伝統文化の独特な魅力を秘めている。

文化・観光の融合という大きな流れの下で、孔子博物館は特有の文化遺産資源と儒家文化の内包を頼りに、積極的に多元化した社会教育活動を構築し、社会教育活動を通じて観客に奉仕し、教育に奉仕し、社会に奉仕し、力を合わせて「孔子学堂」の核心的な社会教育ブランドを作り上げ、カリキュラムシステムを絶えず充実させ、毎年平均500回以上の教育活動を展開している。

近年来、孔子博物館は文化の「創業と革新」に立脚し、文化の奥深い優位性を十分に発揮し、優秀な伝統文化を伝播する面で、一連の花式コンビネーションを打ち出した。

連絡先：崔立明

電話：0086-17616591036

メール：jnxcbxwfbk@ji.shandong.cn

Logo - <https://mma.prnewswire.com/media/2010368/Jining_Logo.jpg>

（日本語リリース：クライアント提供）